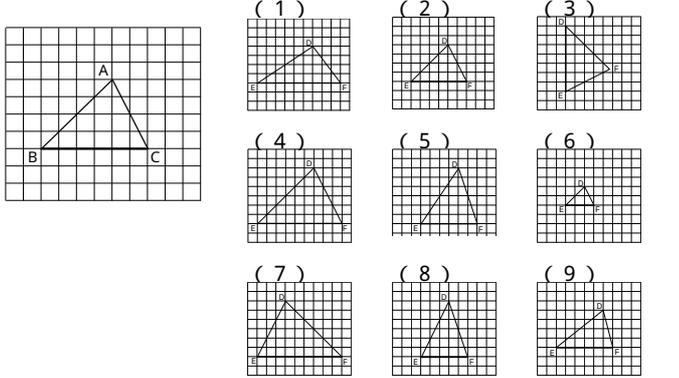


(3) 学習過程

(印は、評価について)

学習のねらい	学 習 活 動	評価・配慮事項
<p>1 課題の把握</p> <div data-bbox="288 344 999 880" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">A B C と同じ形の三角形を次の (1) ~ (9) の三角形から選びなさい。</p>  </div> <p>2 課題の解決 1 (各自が選ぶ)</p> <p>3 課題の解決 2 (比較・検討する)</p> <p>4 用語の定義や 相似な図形の性質の理解</p>	<p>・学習プリントにある課題を読む。</p> <p>・各三角形について、A B C と同じ形であるか否かについて吟味し、根拠を明らかにする。</p> <p>・同じ形として選んだものを発表し合い、その根拠について検討する。</p> <p>・各三角形に対する判定結果を挙手して明らかにする。</p> <p>・角の大きさと辺の長さの比の両方に着目して、それらを根拠に説明する。</p> <p>・他の生徒の意見のうち参考になる内容を学習プリントに記入する。</p> <p>・拡大、縮小、相似、対応する辺、対応する角などの用語の定義や相似な図形の性質を理解する。</p>	<p>・学習プリントを使って説明する。</p> <p>・長さの比較が容易にできるように各三角形を方眼の上に作図する。また、角度についても分度器を使うことなく、第2学年で学習した (高さ) / (水平距離) = (直線の傾き) の知識を利用して、方眼上で角度を比較することができるようにする。</p> <p>・同じ形として選んだ根拠を明らかにさせることで、相似な図形の性質について興味を持たせる。</p> <p style="padding-left: 20px;">相似な図形を意欲的に見つけようとしたか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(評価規準ア)</p> <p>・同じ形を選んだ根拠だけでなく、選ばなかった根拠についても発表させる。</p> <p>・A B の長さなど方眼に平行でない辺の長さや、2 辺とも方眼に平行でない辺でつくられた角の大きさの表現が難しいので方眼の上で丁寧に説明する。</p> <p>・(8) の説明は、難しいので教師が支援する。</p> <p style="padding-left: 20px;">用語の定義や相似な図形の性質について理解できたか。 (評価規準工)</p>